

環境学習施設に関する「有志による意見交換会」

2018年8月22日水曜日 18:30-20:30 フィランセ西館2階 視聴覚室

参加者14名

意見交換会(覚え書き) *あくまで非公式な意見交換です。

- ・現状では「3R協働活動プラットホーム」の組織づくりが第一課題では
- ・ごみの減量化の話は審議会がやればよいのでは
- ・そもそも今回の会議の位置づけは？(公式？非公式？なぜ市が案内を出した？)
- ・コンセプト等中心を決めなければ枝葉が作れない
- ・市の3回目の会議の延長、4回目の位置づけで会議を
(4グループに分かれた内容をブラッシュアップする会議を) 次回はビオトープ？
- ・なぜ最初にあったプラットフォームは無くなってしまったのか？
- ・現在のクリーン工房や、市の立ち位置(思い)がよくわからない
- ・今回の案内は市が出している。議事録をとりにくる姿勢がないのがおかしいのでは
- ・もう少し市は市民が抱えている疑問にきちんと回答、説明をすべきでは
- ・環境学習施設の話なのになぜ教育員会が来ない？観光に位置付けるなら観光課、公園なら緑の課、行政側が協働してないのに市民に丸投げはおかしいのでは
- ・なぜ3Rプラットホームを発展させて事務局を作らなかったのか
- ・議事録が出ないのは会議ではない(が、市が出さないなら意味ない)
- ・核の部分がみんな見えてないのに進めなければならぬ坂本さんも大変
- ・非公式の会合を進めても説得力がない・議事録は配布して当たり前
- ・事務局不在で31年度になって困るのは市側ではないか
- ・坂本さんは事務局的な動きをするのではなくアドバイザーとして
- ・組織体を作る話は公式な場でやらなければ
- ・市と参加者の意見交換会をセッティングしたい(坂本さんはオブザーバーで参加)
- ・会議の参加者で、全部を把握している人は誰もいない
- ・有志で事務局準備室をつくるべき 坂本さんは今後はアドバイザーとして
- ・市に提出した意見・資料がフィードバックされていない
- ・ビオトープについても何も進んでない？(その他過去の情報もオープン化してほしい)
- ・富士市特有(独自)の考えを出していかないと
- ・現在までのプラットホームのベースになるものを市民活動センターで掲示してほしい
- ・同じことの繰り返しはもうダメ。主役が坂本さんのままでは・・・
- ・事業プログラムはすでに沢山の団体が考えてある。どんどん意見を集約していくべき
- ・とりあえず市民活動センターが今回の参加者のメールを集約。